

地域別ジェネリックカルテ（二次医療圏）

2023（令和5）年4月診療分



全国健康保険協会 鳥取支部
協会けんぽ

データの注意点

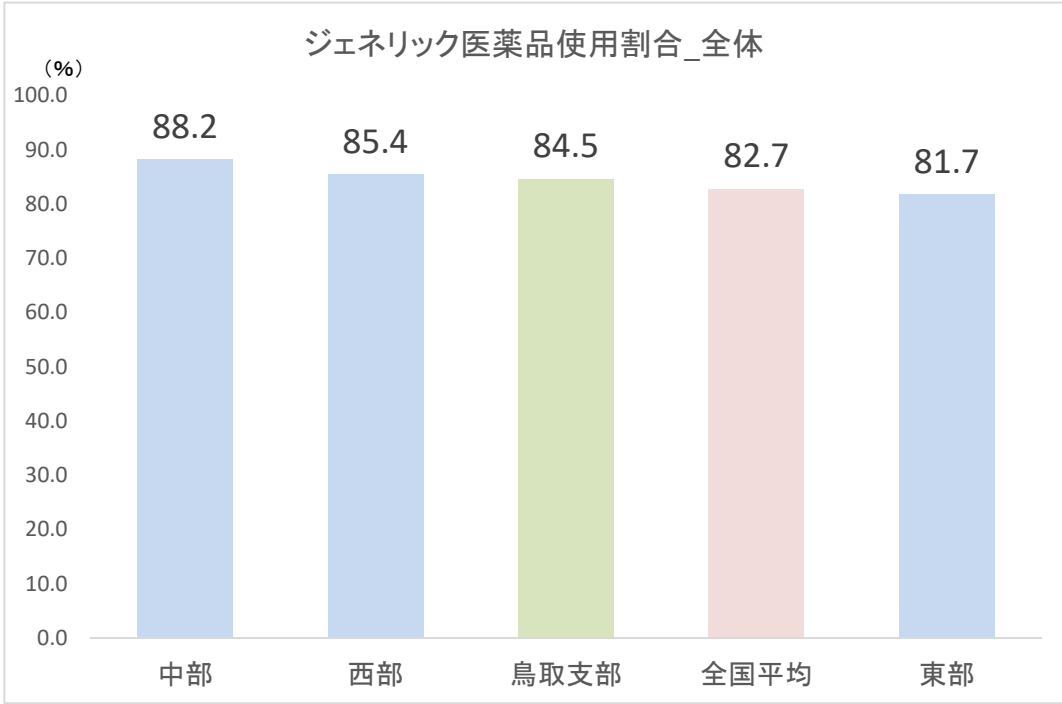
- 地域別の集計は、**医療機関および薬局の所在地**に基づく。
- 2023（令和5）年4月診療分の医科、DPC、調剤レセプトを対象とする。DPCについてはコーディングデータを集計対象とする。
- 数量は、薬価基準告示上の規格単位毎に数えたもの。ただし、経腸成分栄養剤、特殊ミルク製剤、生薬、漢方を除く。
- ジェネリック医薬品使用割合は、数量ベース新指標にて算出。後発品数量 ÷（後発のある先発品数量＋後発品数量）
- 医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報（令和5年6月16日適用）」による。
- 偏差値は県における二次医療圏の位置づけを表す。
- 「影響度」は偏差値50からの差分が、県全体のジェネリック医薬品使用割合に与える影響を示す。例えば、**影響度が-1.0ならば、当該指標が県全体のジェネリック割合を1.0ポイント引き下げている**。また、影響度は、該当指標の全体平均からの差分に数量構成割合の比率を乗じて算出している。数量構成割合は地域によって異なるため、全体の影響度とその内訳の合計は必ずしも一致しない。
- 二次医療圏、及び市区町村に関する情報は、令和元年10月1日時点のものとする。

東部：鳥取市・岩美町・若桜町・智頭町・八頭町

中部：倉吉市・三朝町・湯梨浜町・琴浦町・北栄町

西部：米子市・境港市・日吉津村・大山町・南部町・伯耆町・日南町・日野町・江府町

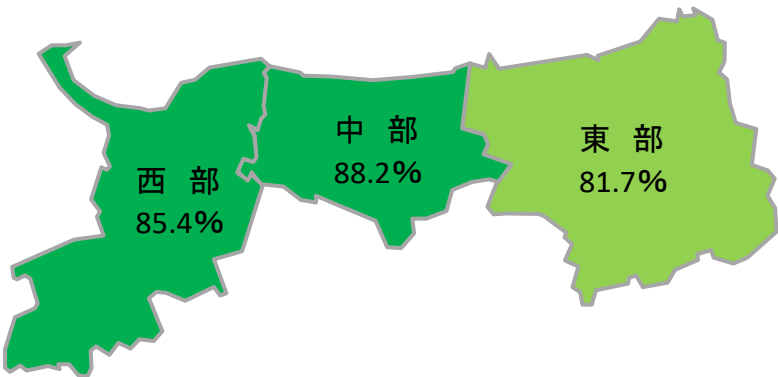
ジェネリック医薬品使用割合／全体



影響度

+0.65	+0.40	-1.05
-------	-------	-------

- 「中部」の使用割合が最も高い。
- 県平均は全国平均に比べて1.8ポイント高い。
- 「中部」と「西部」は全国平均を上回っている。
- すべての地域で前年よりも使用割合が上昇している。

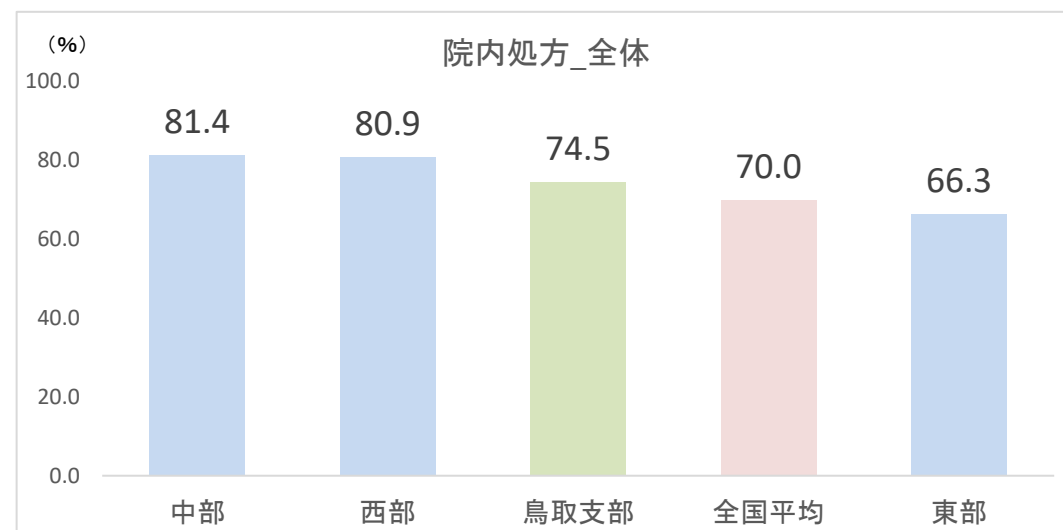


ジェネリック医薬品使用割合_全体

	2023年4月			2022年4月	前年 同期差
	偏差値	Ge使用割合	影響度	Ge使用割合	
東部	39	81.7	-1.05	80.0	1.7
中部	64	88.2	+0.65	86.6	1.6
西部	53	85.4	+0.40	82.8	2.6
鳥取支部	-	84.5	-	82.3	2.2
全国平均	-	82.7	-	80.7	2.0

項目	以上	未満	色
1		70	赤
2	70	75	オレンジ
3	75	80	黄
4	80	85	緑
5	85		濃緑

ジェネリック医薬品使用割合／院内処方／全体



影響度

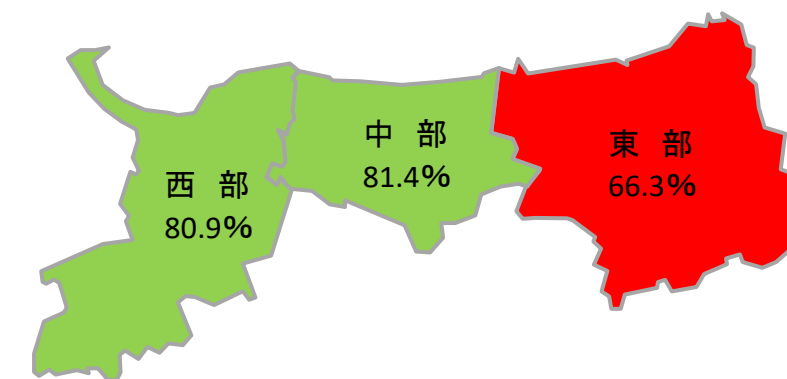
+0.11

+0.62

-0.73

■「東部」の使用割合66.3%。「中部」「西部」と比べて10ポイント以上低い。

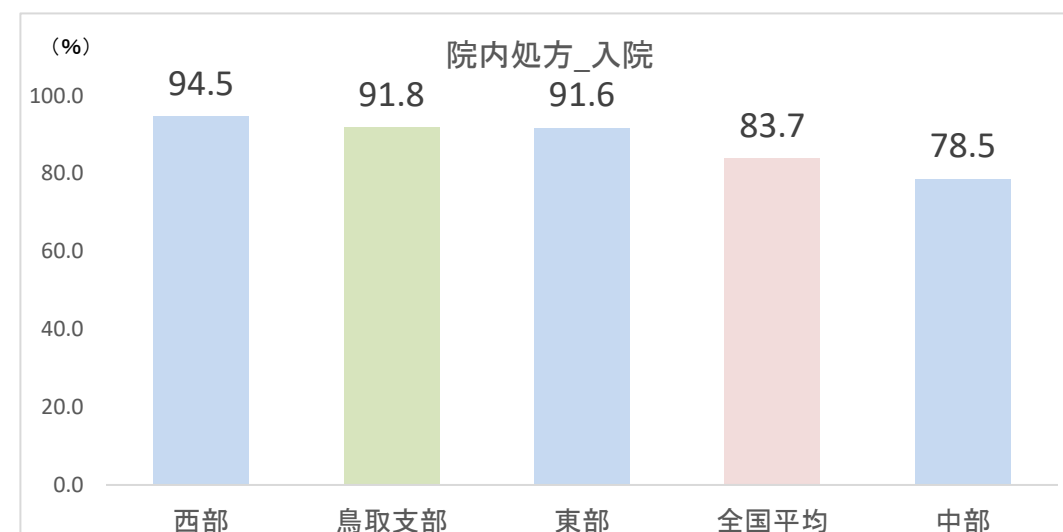
■「中部」の使用割合が前年より減少している。



院内処方_全体

	2023年4月			2022年4月	前年 同期差
	偏差値	Ge使用割合	影響度	Ge使用割合	
東部	38	66.3	-0.73	65.2	1.1
中部	60	81.4	-0.11	82.1	▲ 0.7
西部	59	80.9	-0.62	80.1	0.8
鳥取支部	-	74.5	-	73.6	0.9
全国平均	-	70.0	-	69.2	0.8

ジェネリック医薬品使用割合／院内処方／入院



影響度

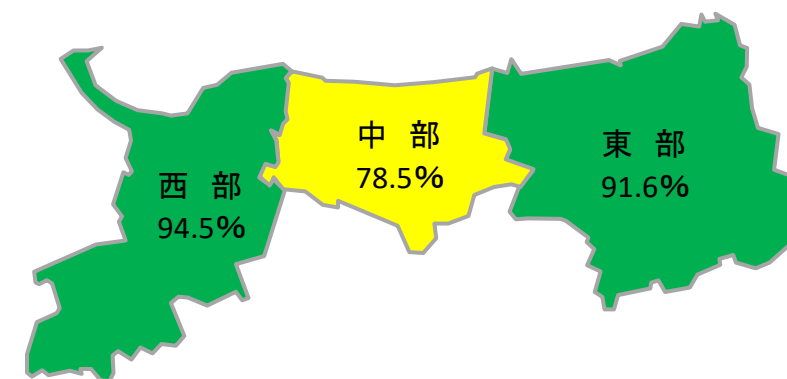
+0.02

-0.00

-0.02

■支部平均は91.8%と非常に高い。

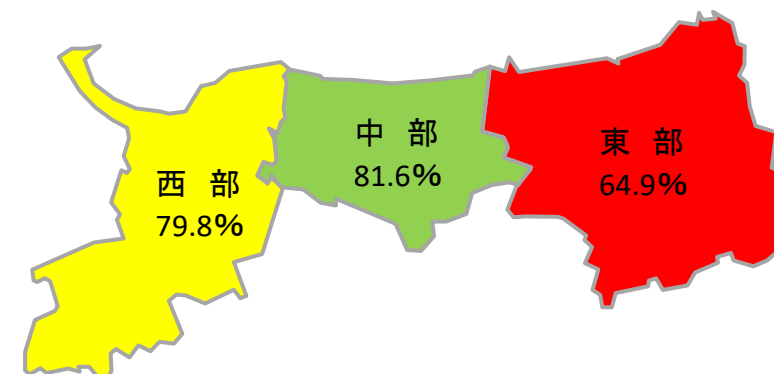
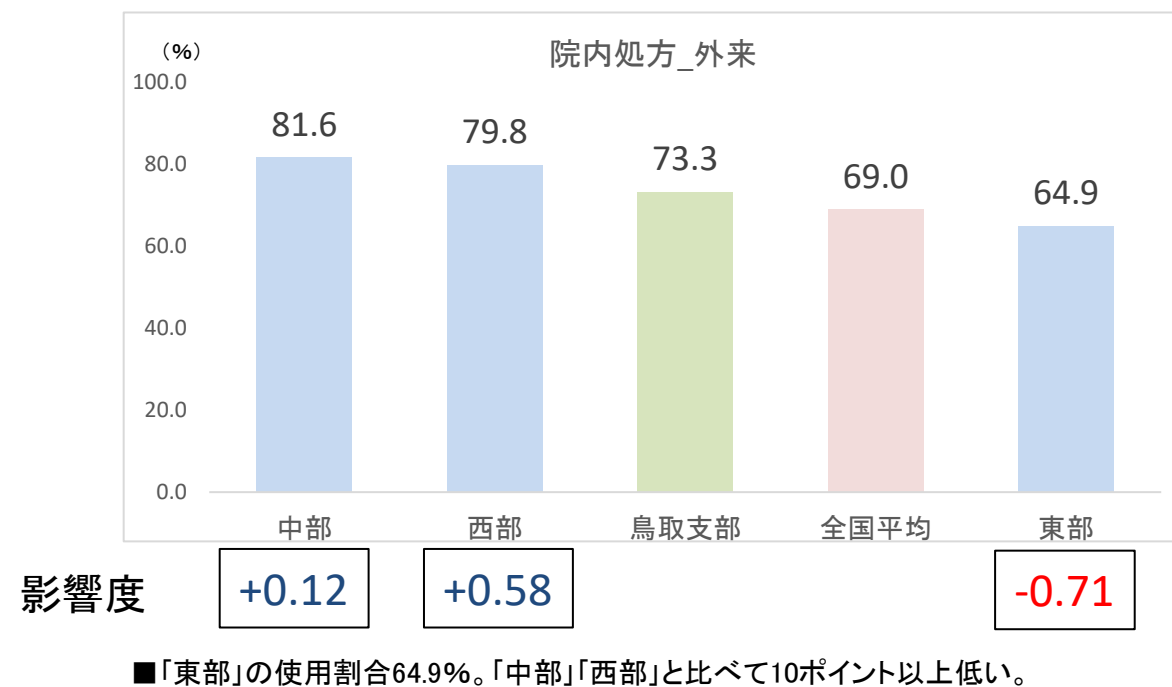
■「中部」の使用割合が前年より減少している。



院内処方_入院

	2023年4月			2022年4月	前年 同期差
	偏差値	Ge使用割合	影響度	Ge使用割合	
東部	50	91.6	0.00	87.7	3.9
中部	31	78.5	-0.02	81.9	▲ 3.4
西部	54	94.5	-0.02	92.7	1.8
鳥取支部	-	91.8	-	89.8	2.0
全国平均	-	83.7	-	83.2	0.5

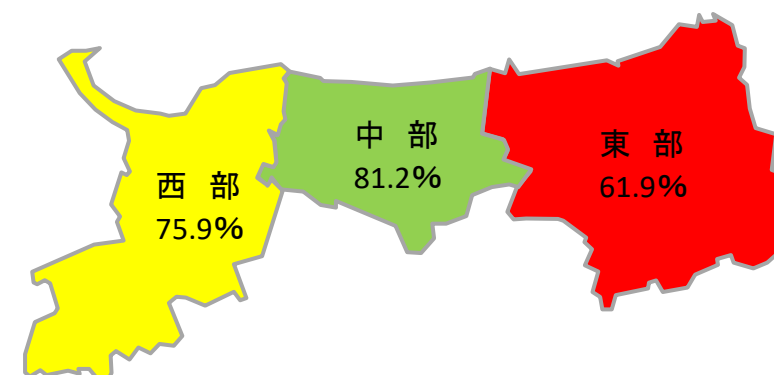
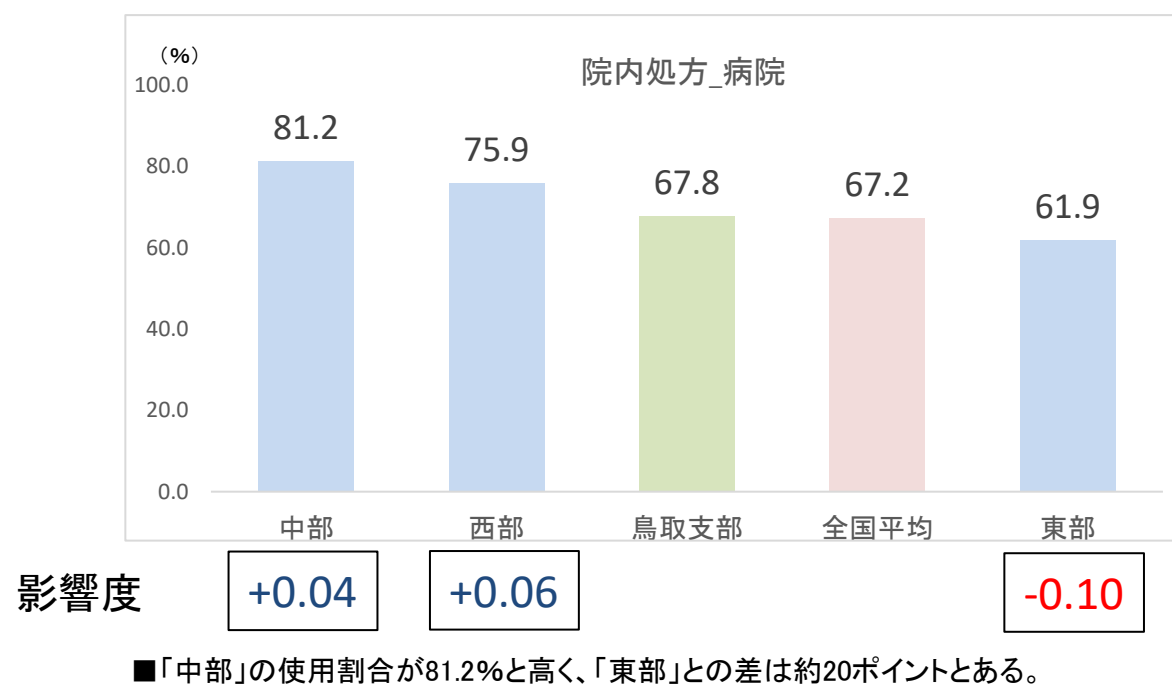
ジェネリック医薬品使用割合／院内処方／外来



院内処方_外来

	2023年4月			2022年4月	前年 同期差
	偏差値	Ge使用割合	影響度	Ge使用割合	
東部	39	64.9	-0.71	64.1	0.8
中部	61	81.6	+0.12	82.1	▲ 0.5
西部	59	79.8	+0.58	79.0	0.8
鳥取支部	—	73.3	—	72.5	0.8
全国平均	—	69.0	—	68.1	0.9

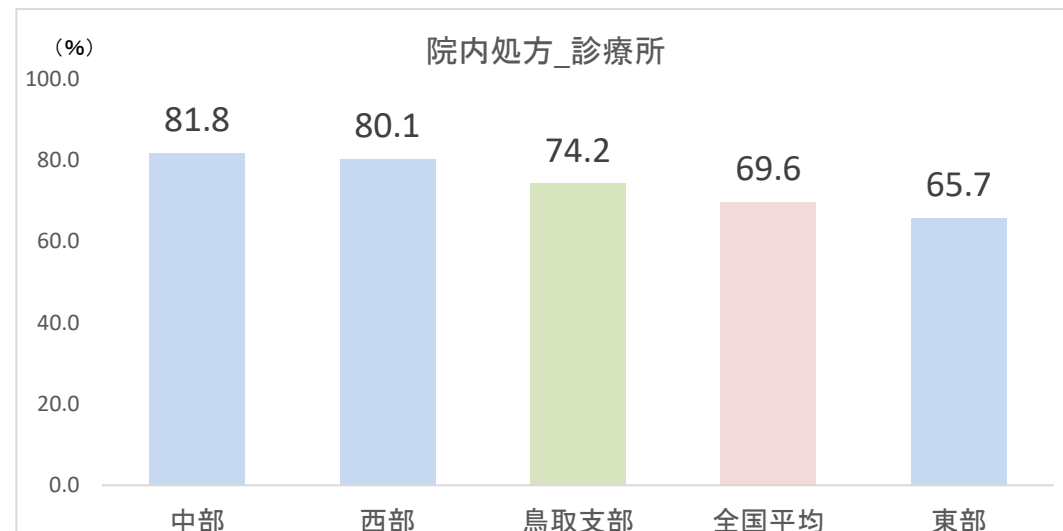
ジェネリック医薬品使用割合／院内処方／病院



院内処方_病院

	2023年4月			2022年4月	前年 同期差
	偏差値	Ge使用割合	影響度	Ge使用割合	
東部	43	61.9	-0.10	62.6	▲ 0.7
中部	66	81.2	+0.04	82.0	▲ 0.8
西部	60	75.9	+0.06	73.6	2.3
鳥取支部	—	67.8	—	67.7	0.1
全国平均	—	67.2	—	67.2	0.0

ジェネリック医薬品使用割合／院内処方／診療所



影響度

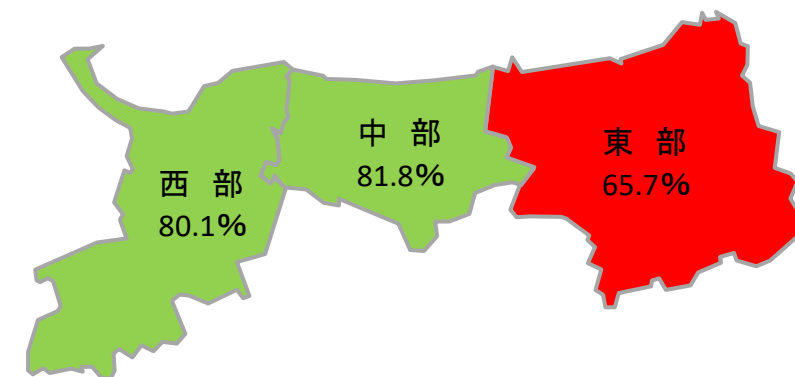
+0.09

+0.49

-0.58

■「東部」の使用割合65.7%。「中部」「西部」と比べて10ポイント以上低い。

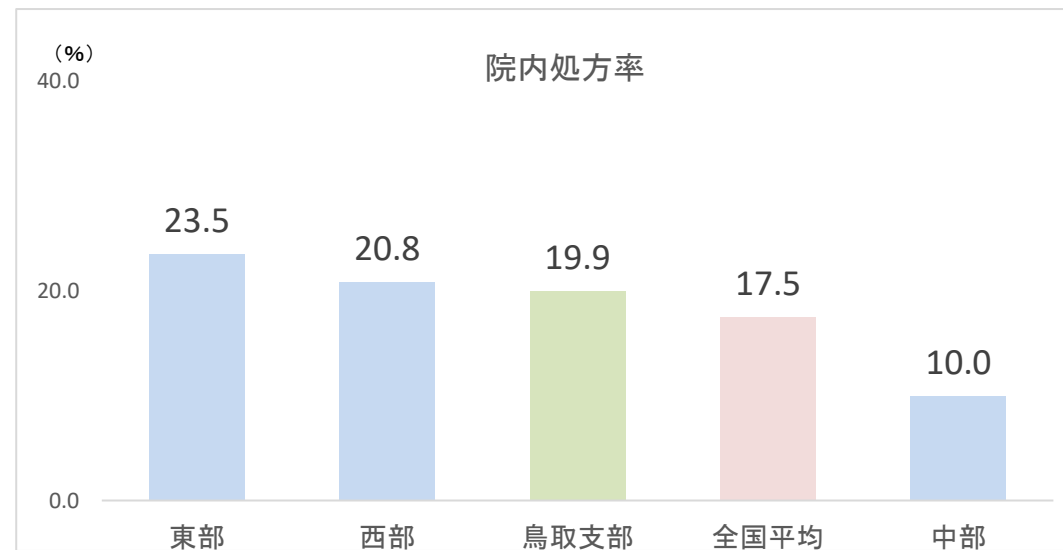
■すべての地域で病院より診療所の使用割合が高い。



院内処方_診療所

	2023年4月			2022年4月	前年 同期差
	偏差値	Ge使用割合	影響度	Ge使用割合	
東部	38	65.7	-0.58	64.5	1.2
中部	60	81.8	+0.09	82.1	▲ 0.3
西部	58	80.1	+0.49	79.6	0.5
鳥取支部	-	74.2	-	73.4	0.8
全国平均	-	69.6	-	68.5	1.1

院内処方率



■すべての地域で院内処方率は前年と比べ上昇している。

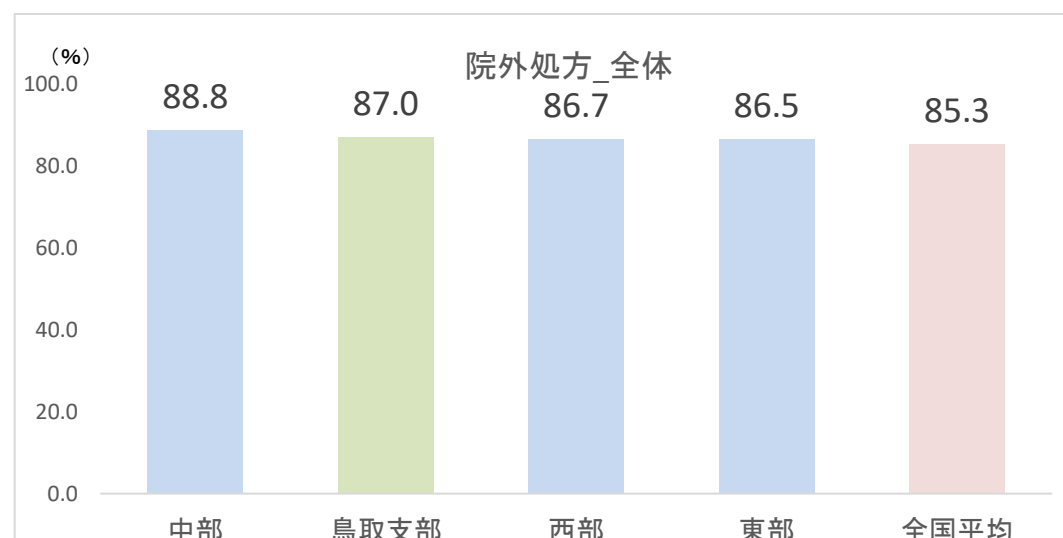
院内処方率

	2023年4月			2022年4月	前年 同期差
	偏差値	院内処方率	影響度	院内処方率	
東部	44	23.5	-	22.6	0.9
中部	67	10.0	-	9.7	0.3
西部	48	20.8	-	19.8	1.0
鳥取支部	-	19.9	-	19.3	0.6
全国平均	-	17.5	-	17.8	▲ 0.3

■ 実質院内処方率として、医薬品処方数量に基づいて算出している。

(院内処方医薬品数量) / (院内処方医薬品数量 + 院外処方医薬品数量)

ジェネリック医薬品使用割合／院外処方／全体



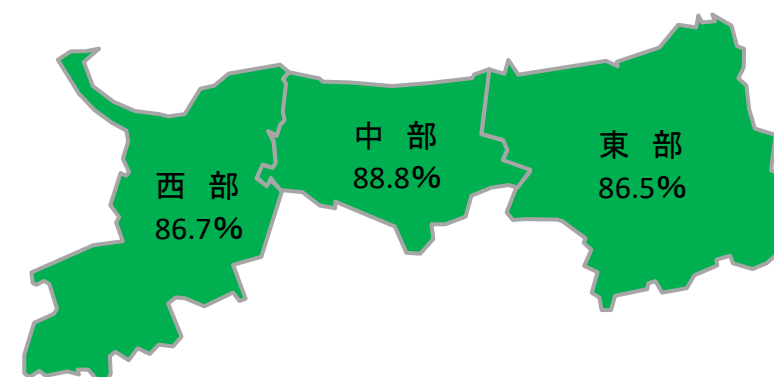
影響度

+0.29

-0.13

-0.16

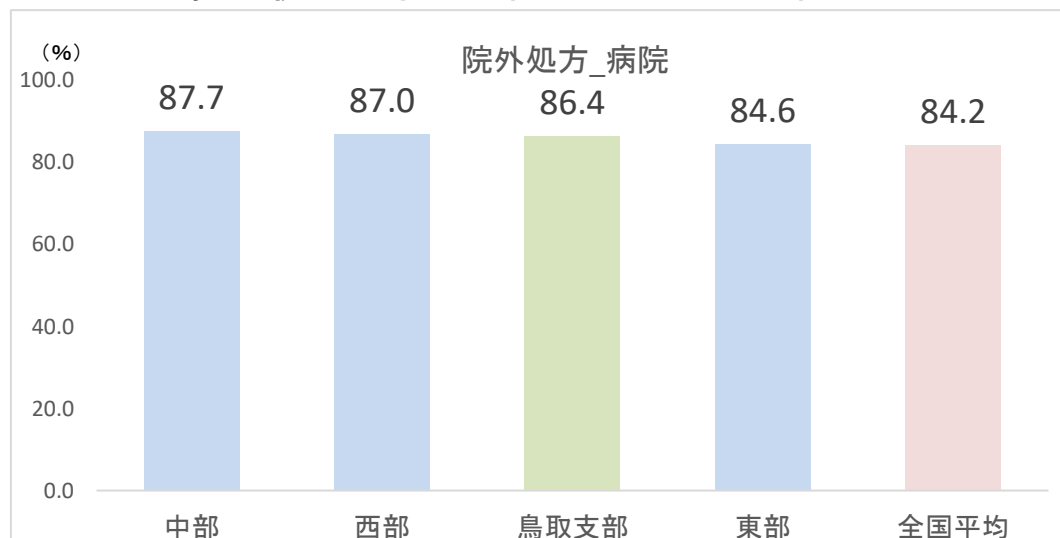
■すべての地域で80%を超えており、全国平均を上回っている。



院外処方_全体

	2023年4月			2022年4月	前年 同期差
	偏差値	Ge使用割合	影響度	Ge使用割合	
東部	45	86.5	0.16	84.5	2.0
中部	67	88.8	0.29	87.2	1.6
西部	47	86.7	0.13	83.6	3.1
鳥取支部	—	87.0	—	84.6	2.4
全国平均	—	85.3	—	83.3	2.0

ジェネリック医薬品使用割合／院外処方／病院



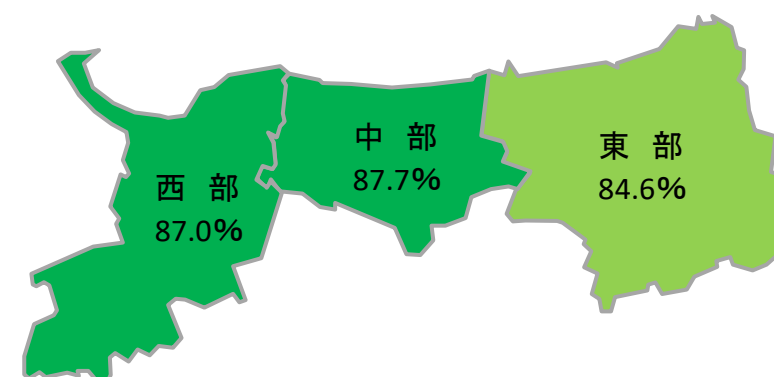
影響度

+0.08

+0.07

-0.15

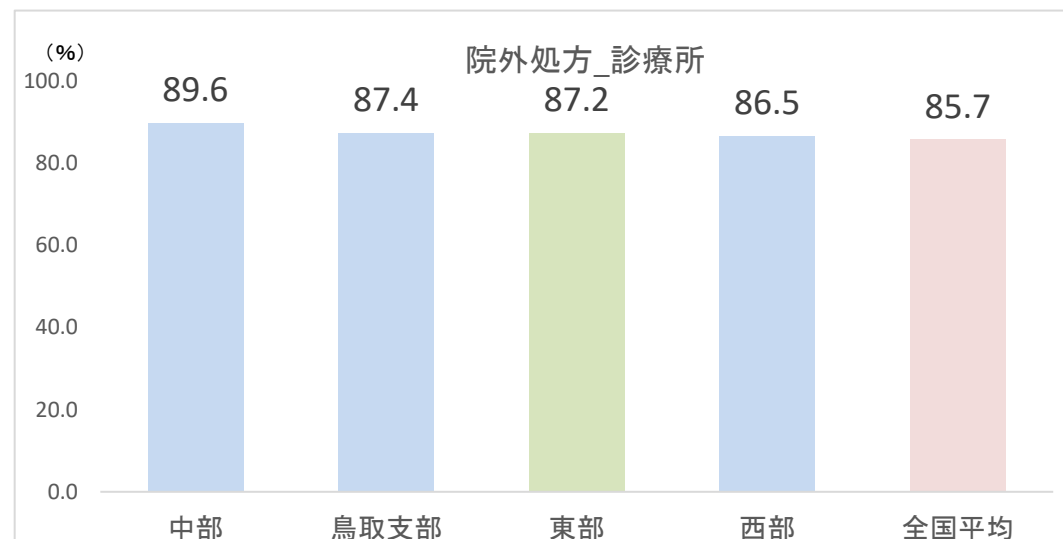
■すべての地域で80%を超えており、全国平均を上回っている。



院外処方_病院

	2023年4月			2022年4月	前年 同期差
	偏差値	Ge使用割合	影響度	Ge使用割合	
東部	36	84.6	0.15	82.8	1.8
中部	59	87.7	0.08	85.7	2.0
西部	55	87.0	0.07	83.5	3.5
鳥取支部	—	86.4	—	83.8	2.6
全国平均	—	84.2	—	82.2	2.0

ジェネリック医薬品使用割合／院外処方／診療所



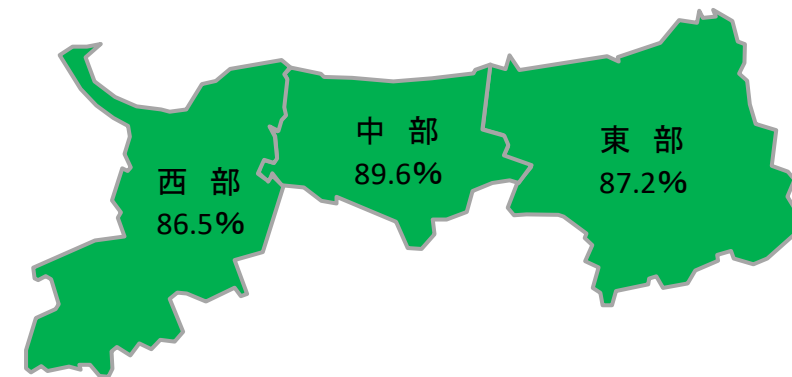
影響度

+0.22

-0.03

-0.19

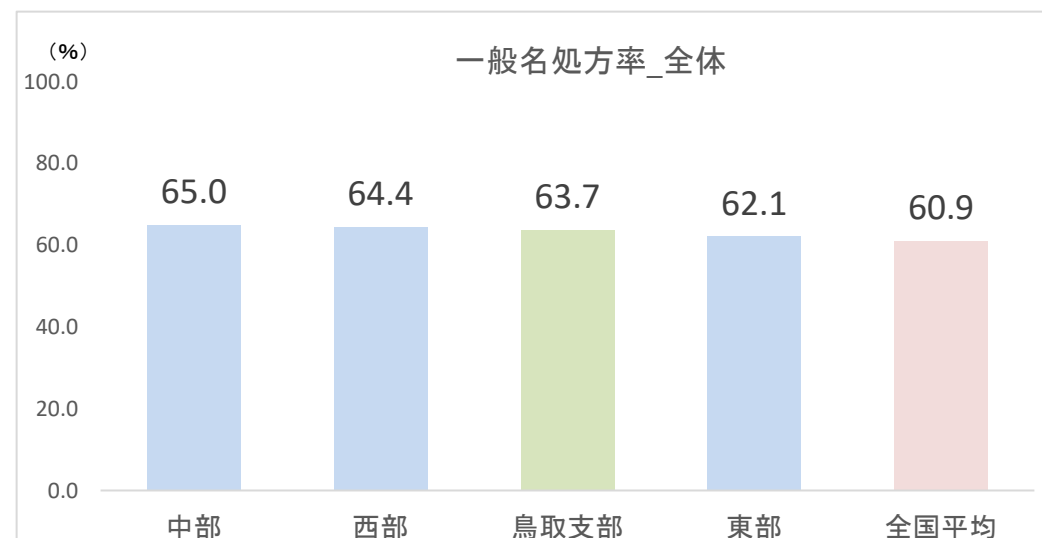
■すべての地域で80%以上。「中部」は89.6%と特に高い。



院外処方_診療所

	2023年4月			2022年4月	前年 同期差
	偏差値	Ge使用割合	影響度	Ge使用割合	
東部	49	87.2	0.03	85.2	2.0
中部	67	89.6	0.22	88.2	1.4
西部	44	86.5	0.19	83.6	2.9
鳥取支部	—	87.4	—	85.1	2.3
全国平均	—	85.7	—	83.8	1.9

一般名処方率／全体



影響度

+0.09

+0.10

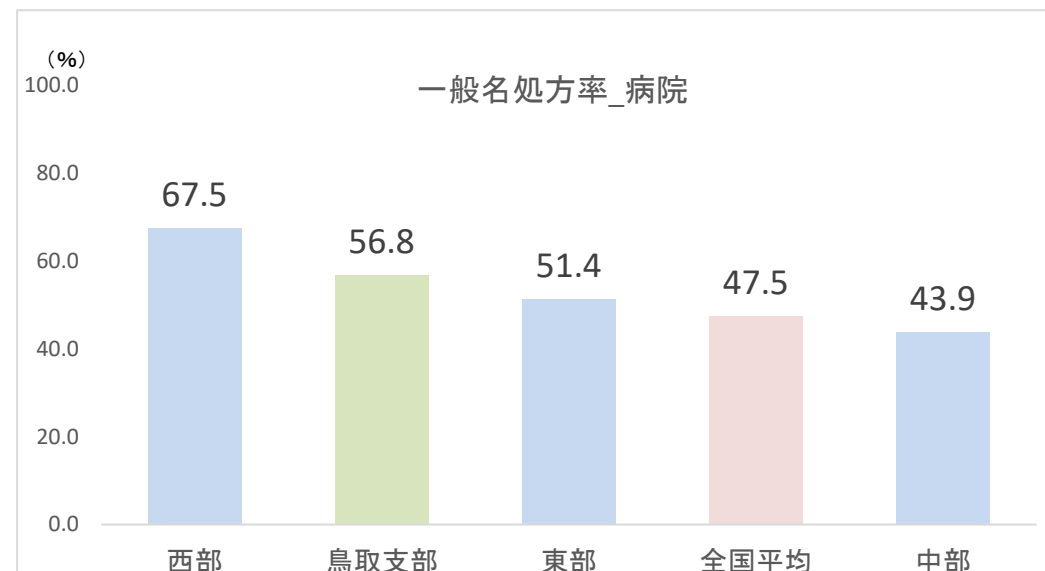
-0.19

■すべての地域で全国平均を上回っている。

一般名処方率_全体

	2023年4月			2022年4月	前年 同期差
	偏差値	一般名処方率	影響度	一般名処方率	
東部	37	62.1	0.19	58.2	3.9
中部	61	65.0	0.09	61.1	3.9
西部	56	64.4	0.10	56.7	7.7
鳥取支部	—	63.7	—	58.1	5.6
全国平均	—	60.9	—	58.0	2.9

一般名処方率／病院

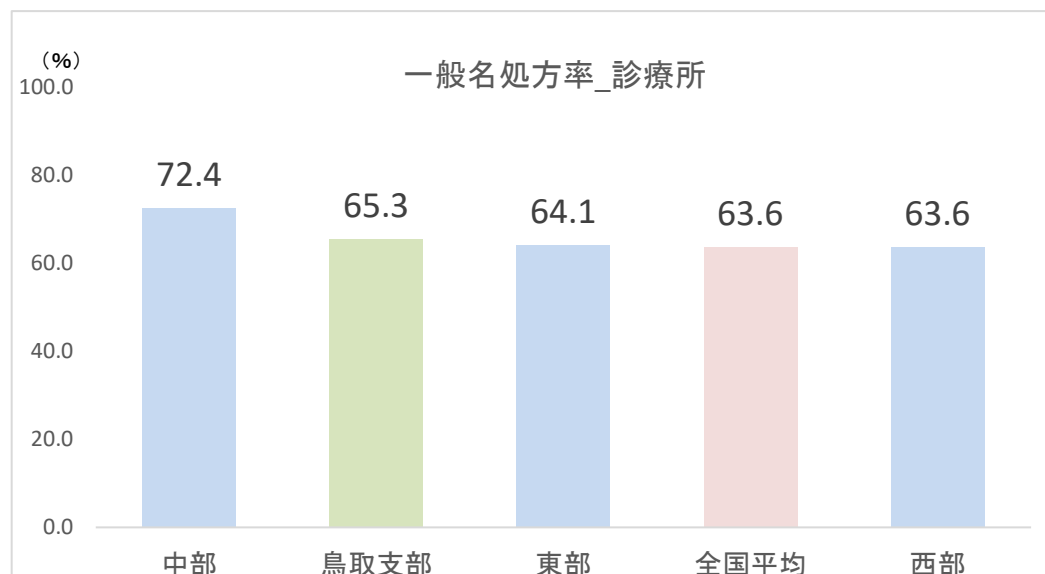


- 全国平均を上回っているのは「東部」「西部」。
- 病院は診療所よりも一般名処方率が低くなっている。

一般名処方率_病院

	2023年4月			2022年4月	前年
	偏差値	一般名処方率	影響度	一般名処方率	同期差
東部	45	51.4	－	48.9	2.5
中部	37	43.9	－	39.7	4.2
西部	61	67.5	－	49.0	18.5
鳥取支部	－	56.8	－	46.6	10.2
全国平均	－	47.5	－	44.0	3.5

一般名処方率／診療所



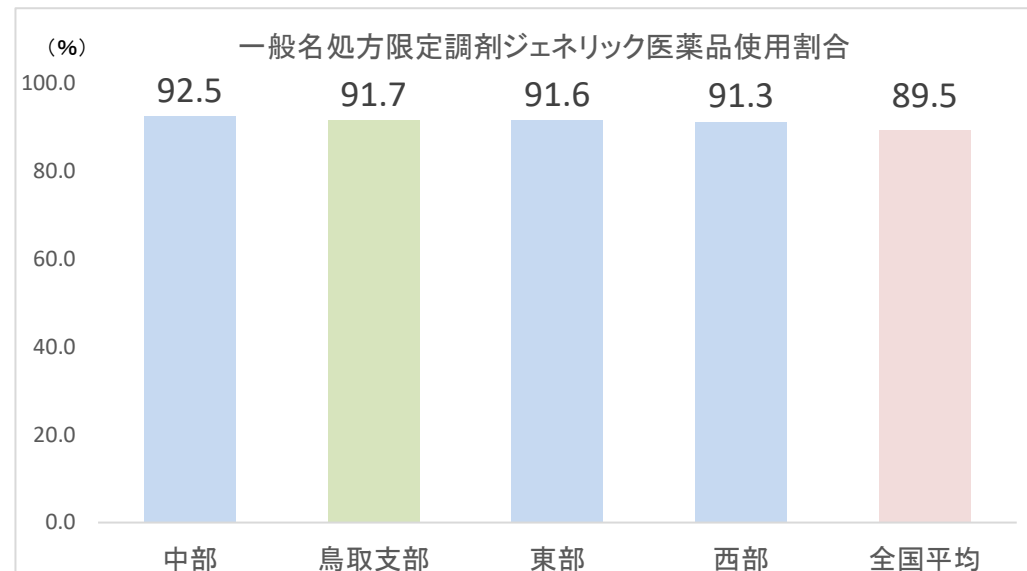
- 全国平均を上回っているのは「東部」「中部」。

一般名処方率_診療所

	2023年4月			2022年4月	前年
	偏差値	一般名処方率	影響度	一般名処方率	同期差
東部	47	64.1	－	60.0	4.1
中部	67	72.4	－	68.8	3.6
西部	46	63.6	－	58.7	4.9
鳥取支部	－	65.3	－	61.0	4.3
全国平均	－	63.6	－	60.9	2.7

- 実質一般名処方率として、一般名処方加算にヒモ付くレセプト数に基づいて算出している。(一般名処方加算1または2が存在する医科レセプトに、支部、記号、番号、性別、生年月日がヒモ付く調剤レセプトの数)/(調剤レセプトの数)
- 一般名処方率、加入者ジェネリック拒否割合の影響度は全国傾向に基づいた推計値のため、母数が少ない地域では大きな誤差が生じる可能性がある。

一般名処方限定調剤ジェネリック医薬品使用割合



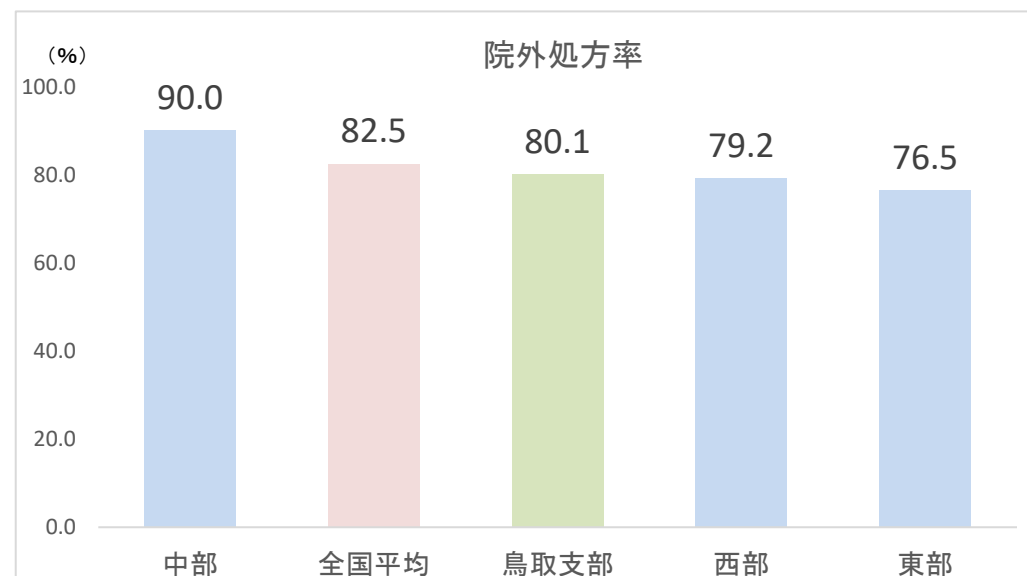
■一般名処方が発行された処方箋のジェネリック使用割合は、すべての地域が全国平均以上。

一般名処方限定調剤ジェネリック医薬品使用割合

	2023年4月			2022年4月	前年
	偏差値	一般名処方率	影響度	一般名処方率	同期差
東部	49	91.6	－	89.5	2.1
中部	66	92.5	－	89.9	2.6
西部	43	91.3	－	90.7	0.6
鳥取支部	－	91.7	－	90.0	1.7
全国平均	－	89.5	－	88.3	1.2

■ 一般名処方加算1が存在する医科レセプトに、支部、記号、番号、性別、生年月日がヒモ付く調剤レセプトのみを集計対象とする。

院外処方率



■「中部」が90.0%と特に高い。「東部」「西部」は全国平均以下である。

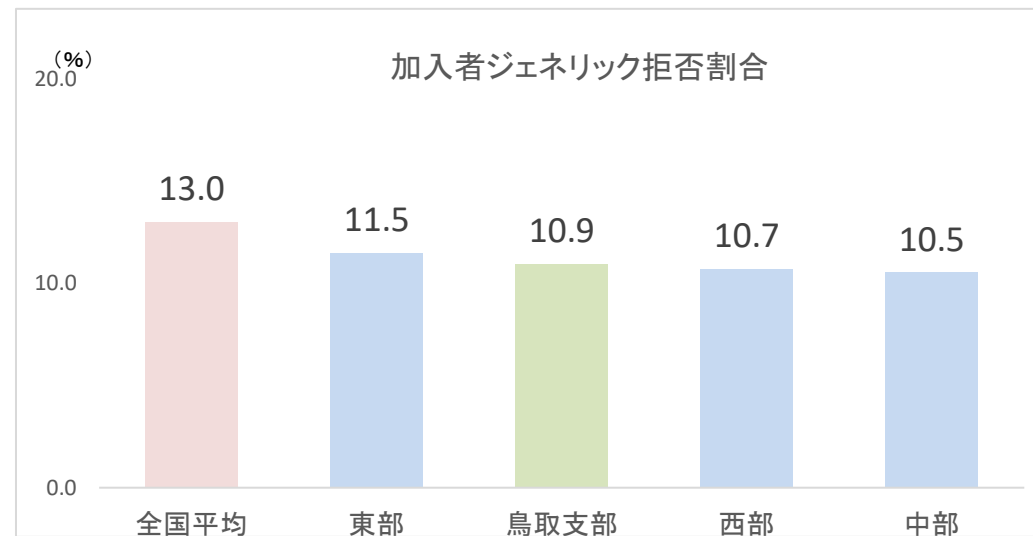
院外処方率

	2023年4月			2022年4月	前年
	偏差値	一般名処方率	影響度	一般名処方率	同期差
東部	44	76.5	－	77.4	▲ 0.9
中部	67	90.0	－	90.3	▲ 0.3
西部	48	79.2	－	80.2	▲ 1.0
鳥取支部	－	80.1	－	80.7	▲ 0.6
全国平均	－	82.5	－	82.2	0.3

■ 実質院外処方率として、医薬品処方数量に基づいて算出している。

$$\frac{(\text{院外処方医薬品数量})}{(\text{院内処方医薬品数量} + \text{院外処方医薬品数量})}$$

加入者ジェネリック拒否割合



影響度

-0.13

+0.07

+0.06

■すべての地域で全国平均以下である。

加入者ジェネリック拒否割合

	2023年4月		影響度	2022年4月	前年
	偏差値	Ge拒否割合		Ge拒否割合	同期差
東部	37	11.5	-0.13	12.3	▲ 0.8
中部	60	10.5	-0.06	10.2	0.3
西部	56	10.7	-0.07	11.8	▲ 1.1
鳥取支部	—	10.9	—	11.7	▲ 0.8
全国平均	—	13.0	—	13.9	▲ 0.9

- （調剤レセプトの加入者の都合で後発品を調剤しなかったコメントレコードのあるレセプト数）／（一般名処方加算が存在する医科レセプトに、支部、記号、番号、性別、生年月日がヒモ付く調剤レセプト数）
- 一般名処方率、加入者ジェネリック拒否割合の影響度は全国傾向に基づいた推計値のため、母数が少ない地域では大きな誤差が生じる可能性がある。

発行日：令和6年3月

発行元：全国健康保険協会鳥取支部 企画総務グループ

〒680-8560 鳥取市今町2丁目112番地

アクティ日ノ丸総本社ビル5階

電話：0857-25-0051

ホームページもご覧ください

健康保険に関する最新情報もご確認いただけますので、ぜひご利用ください！

<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/shibu/tottori/>

協会けんぽ鳥取

検索

